



JSPO
Japan Sport Association

Press Release

2026年10月7日

加盟団体承認書手交式を実施しました！ 一般財団法人ピックルボール日本連盟

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりを行う JSPO(正式名称:公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区/会長 遠藤利明)は、2026年6月24日付で一般財団法人ピックルボール日本連盟(東京都渋谷区/理事長 リオダン リカ)の加盟を承認し、このたび加盟団体承認書手交式を実施しました。



左:JSPO 森岡専務理事 右:ピックルボール日本連盟 リオダン理事長

手交式では、加盟承認書の手交を行うとともに、今後の連携に向け両団体の事業内容や取り組みについて情報交換を行いました。

JSPO は、今後も各加盟団体と連携・協力し、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむ環境づくりと、豊かな社会の形成に取り組んでまいります。

<ピックルボール日本連盟 リオダン理事長のコメント>

JSPO の皆さまの温かいご支援により加盟承認をいただけたことに、心より感謝申し上げます。

今回、承認団体として加盟したことはゴールではなく、スタートであると考えております。

急速に成長するピックルボールを一過性のブームで終わらせることなく、地域組織の整備やジュニア・指導者育成に取り組み、誰もが生涯にわたって楽しめるスポーツとして日本に根付かせていきます。

<JSPO 森岡専務理事のコメント>

このたび、ピックルボール日本連盟を JSPO の 130 番目の加盟団体としてお迎えできることを大変うれしく思います。ピックルボールは、年齢や性別を問わず誰もが親しみやすい競技として世界的に注目を集めており、日本でも急速に普及が進んでいます。

今後、スポーツ指導者やジュニア世代の育成をはじめ、幅広い世代がスポーツに親しむ環境づくりにおいて、連盟の皆様と連携・協働できることを期待しております。ともにスポーツの新たな可能性を切り拓いてまいります。

■一般財団法人ピックルボール日本連盟(PJ)

HP: [ピックルボール日本連盟](#)

一般財団法人ピックルボール日本連盟は、日本におけるピックルボール競技の統括団体として、普及・振興、選手・指導者・審判の育成、国内大会および国際大会の開催、競技環境の整備に取り組んでいます。透明性の高い運営と適切なガバナンスのもと、競技力向上と生涯スポーツとしての普及を両立し、スポーツの健全な発展と豊かなコミュニティづくりを推進しています。



※JSPO 加盟団体一覧は[こちら](#)

なお、新規加盟に関するお問い合わせも随時受け付けています。

[当協会 HP の新規加盟案内ページ](#)をご覧ください。

◆JSPO(公益財団法人日本スポーツ協会)について

JSPO は、1911 年 7 月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018 年 4 月 1 日、現在の名称となりました。

JSPOでは、国民スポーツ大会(旧 国民体育大会)や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や 60 を超える競技団体、47 都道府県スポーツ協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

▶ ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/>

▶ 事業概要パンフレット

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid57.html#09> (通読約 15 分)

▶ JSPO 中期計画 2023-2027

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid149.html#01>



JSPO
Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

We support sport in Japan

JSPO OFFICIAL PARTNER



大塚製薬



日本文化出版

時事通信



日本郵政

